

## 岩出市地域公共交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）

令和7年6月10日

（名称）岩出市地域公共交通協議会

（代表者名）会長 川端 秀明

## 生活交通確保維持改善計画の名称

岩出市地域公共交通確保維持改善計画

## 1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

岩出市では、平成21年度に岩出市地域公共交通協議会を設置し、より住民が利用しやすい巡回バスルートやバス停の見直しなどに取り組んできた。

和歌山県内で一番若いまちである岩出市であっても高齢化の波は避けることはできず、交通弱者である高齢者等の増加は年々否めない状況になっている。

市は、これまで取り組んできた本計画に基づき、公共交通環境の整備を行っているが、今後も買物や通院など地域内の日常生活の移動手段として、住民に利用していただき、より利便性の高い巡回バスネットワークとして確保維持しなければならない。

また、この巡回バスネットワークは、JR及び地域間幹線系統のバスとの接続も可能なため、市外への広域的な移動にも必須のバスネットワークでもある。

この地域内を巡回し、日常生活の移動手段として、また、JR等へのアクセスによる広域的な移動も担う巡回バスを、生活交通として維持確保に取り組んでいく。

## 2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

## (1) 事業の目標

## ○目標(単位：人)

岩出市においても今後、高齢化が進み、交通弱者の増加は予測されるが、実績値の状況から、年間利用者の目標値を据え置き、利用者の増加に対応しながら交通弱者の生活交通である当該巡回バスの確保・維持を図る。令和3年度以降の目標値は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の減少が否めないため、令和元年度及び令和2年度上半期の実績値と直近2年の年度末利用者数の増加率から割り出した値に約10%上乗せした値にしている。

収支、公的負担については、事業者が保有する決算書により計算し、令和4年度現在2%である収支を、令和10年度までに3%に改善することを目標とする。

年 度	年間利用者 (目標値)	年間利用者 (実績値)
平成25年度	-	38,866人
平成26年度	-	43,182人
平成27年度	-	38,542人
平成28年度	-	38,950人
平成29年度	42,000人	35,456人
平成30年度	42,000人	37,120人
平成31年度・令和元年度	42,000人	36,957人
令和2年度	東巡回コース 9,000人	東巡回コース 5,252人
	西巡回コース 21,000人	西巡回コース 13,773人
	中央巡回コース 12,000人	中央巡回コース 7,158人
	合計 42,000人	合計 26,183人
令和3年度	東巡回コース 6,060人	東巡回コース 5,109人
	西巡回コース 14,140人	西巡回コース 14,571人
	中央巡回コース 8,080人	中央巡回コース 5,772人
	合計 28,280人	合計 25,452人
令和4年度	東巡回コース 6,490人	東巡回コース 6,825人
	西巡回コース 15,140人	西巡回コース 15,864人
	中央巡回コース 8,650人	中央巡回コース 6,276人

別紙（地域内フィーダー系統）

	合計	30,280人	合計	28,965人
令和5年度	東巡回コース	6,920人	東巡回コース	7,180人
	西巡回コース	16,140人	西巡回コース	16,653人
	中央巡回コース	9,220人	中央巡回コース	7,102人
	合計	32,280人	合計	30,935人
令和6年度	東巡回コース	7,370人	東巡回コース	6,961人
	西巡回コース	17,140人	西巡回コース	17,326人
	中央巡回コース	9,770人	中央巡回コース	8,615人
	合計	34,280人	合計	32,902人
令和7年度	東巡回コース	7,740人		-
	西巡回コース	18,000人		
	中央巡回コース	10,260人		
	合計	36,000人		
令和8年度	東巡回コース	8,300人		-
	西巡回コース	18,600人		
	中央巡回コース	10,300人		
	合計	37,200人		

（2）事業の効果

- 買い物や通院など日常生活の移動手段が確保できる。
- JR及び地域間幹線系統バスへの接続により広域的移動が可能になる。（生活の質の向上）
- 総合病院へ乗り入れている路線（紀北巡回線）への接続により、疾病時などの安心感が増加する。
- 交通弱者である高齢者等の外出機会の増進につながる。
- 新たなコミュニティの醸成につながる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

市民課窓口で転入者への公共交通利用促進チラシの配布や、岩出市で行っている高齢者向けの事業において、岩出市巡回バス時刻表の配布及び利用促進についてのPRを実施。（岩出市）

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

表1のとおり

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

岩出市から運行事業者への運行に係る補助金については、運行収入及び国庫補助金を運行経費総額40,918千円から差し引いた差額分を負担することとしている。

6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

利用者数や収支について、数値指標によるモニタリング・評価を実施

7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】

該当なし

8. 別表1の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】

該当なし

9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】

該当なし

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】

表5のとおり

11. 車両の取得に係る目的・必要性

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

岩出市巡回バスは平成21年度より住民が利用しやすい巡回バスルートやバス停の見直しを行い、1月1日～3日を除く毎日、学生・高齢者等の交通弱者の生活路線として運行している。

岩出市巡回バスを運行している小型車両は平成18年に導入しており、登録より13年経過、走行

距離は 70 万 km を越え、安全運行を確保するために、老朽化した車両の早急な買換えを行う必要があった。

岩出市巡回バスは市内各地を網羅した運行ルートとなっているため、小路を多く運行しており、小型車両以外で運行した場合、安全性の確保が困難である。また、1 日あたりの利用者数が令和 3 年度実績値で 23.4 人であり、一定の利用者がいる。そのため、従前の運行車両と同じ型である、乗車定員 13 人の小型車両を導入した。

また、故障等の緊急時や車両整備時にも安定した運行を継続できるよう、予備車両として令和 8 年 9 月までに新たな車両を 1 台追加導入する計画である。

## 12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

**【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

### （1）事業の目標

老朽化した車両を更新し、岩出市巡回バスの運行を維持する。

○導入車両：トヨタハイエースコンピューター

○導入時期：平成 30 年 10 月、令和元年 10 月、令和 2 年 10 月購入済

令和 8 年度中に予備車両を 1 台導入予定

○導入台数：合計 4 台（平成 30 年から令和 2 年にかけて毎年 1 台ずつ購入済、令和 8 年度に 1 台追加予定）

○目標：老朽化した車両の更新と、予備車両の導入を図ることで岩出市巡回バスの安定的な運行を維持する。なお、目標（利用者数）は、2.（1）に記載のとおり。

### （2）事業の効果

上記車両の導入により岩出市巡回バスを維持し、高齢者等の交通弱者の生活路線が確保される。さらに、幹線・支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系が実現でき、利便性が確保された。なお、本年度も同様に利便性確保を図っていく。

## 13. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額

**【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

表 6 を添付。

なお、地域公共交通確保維持事業によって運行を維持する市巡回バスの車両の取得については、購入費用総額のうち、国庫補助金を差し引いた差額分を岩出市から運行事業者への補助金として負担することとしている。

## 14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）

**【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

該当なし

## 15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

## 16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果

**【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

該当なし

## 17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額

**【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

該当なし

## 18. 協議会の開催状況と主な議論

○令和 6 年 5 月 23 日

令和 5 年度岩出市地域公共交通協議会会計歳入歳出決算認定について説明を行い、承認を受けた。

令和 6 年度予算案及び事業計画案について説明を行い、承認を受けた。

岩出市地域公共交通確保維持改善計画の更新について説明を行い、承認を受けた。

○令和 7 年 6 月 10 日

令和 6 年度岩出市地域公共交通協議会会計歳入歳出決算認定について説明を行い、承認を受けた。

令和 7 年度予算案及び事業計画案について説明を行い、承認を受けた。

岩出市地域公共交通確保維持改善計画の更新について説明を行い、承認を受けた。

岩出市巡回バスの発着点の変更について説明を行い、承認を受けた。

#### 19. 利用者等の意見の反映状況

岩出市地域公共交通協議会の構成員に、地域の代表である4地区会長が参画し、計画に対するバス利用者、地域住民の意向を確認。

また、平成26年10月に、利用者等の満足度調査を目的としたアンケートを実施し、結果の検証を行い、要望が多くあった車両明確化のためのラッピングを平成27年9月に実施。

なお、平成29年度において、アンケート等から要望があった時刻表ダイヤ部分の表示の拡大や、運行系統図の道路表示などを明確化した時刻表作成を実施。

令和2年12月15日から令和3年2月1日まで利用者等の満足度調査を目的としたアンケートを実施した。アンケート集計の結果、市巡回バスが無料で利用できる「あいあいカード」の知名度が低かったので、周知を行っていく。

令和4年12月7日から令和5年1月13日まで地域公共交通計画策定の検討において、住民の日常生活の実態や公共交通の利用状況を把握するため、アンケート調査を行った。アンケート結果を基に、計画策定を行っていく。

令和5年12月1日から令和6年1月5日まで地域公共交通計画案のパブリックコメントを実施した。寄せられた意見を計画案に反映させた。

今後も引き続き、利便性の向上、利用者ニーズに沿ったバスネットワークの確保・維持に向け、周知、バス停及びダイヤの見直し等を検討・実施していく。

#### 【本計画に関する担当者・連絡先】

（住 所）和歌山県岩出市西野209番地

（所 属）総務部 総務課

（氏 名）高居 直人

（電 話）0736-62-2141

（e-mail）[soumu@city.iwade.lg.jp](mailto:soumu@city.iwade.lg.jp)（課代表）

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。（ただし、上記2.・3.については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります）。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。